

トンネル内へ反射光映す

愛知・春日井 直径70センチの像に参加者感激
観望会に300人

部分日食となった二十二日、東濃・可児や近隣地域でも日食を観賞するイベントが催された。あいにく厚い雲が立ち込めたが、薄日の間には刻々と欠けていく太陽が観測され、参加者は世紀の天文ショーに歓声を上げた。
(都築修、志村彰太、小川邦夫)

多治見市境、愛知県 第四トンネル」のほぼた。

春日井市玉野町の旧国 中央に、縦二層、横一 トンネル外では、長鉄中央線廃線跡のトンネル・五層の白い幕をつる さ四層の孟宗竹の節をネルでは、愛岐トンネル 下げ、約八〇層離れた 抜いて作った投影機なル群保存再生委員会が 地点から鏡で太陽反射 ぞ十機が置かれた。い「日食観望会」を企 光を映し込んだ。参加 ずれも、ピンホールカ画、両市などから家族 者は、幕に映った直径 メラ(針穴写真機)の連れら約三百人が参加 約七〇センチの太陽の姿 原理を応用したものした。
長さ七五層の「玉野るよう」と大喜びだっ で、欠け、満ちる太陽を白い紙に映した。



トンネル内の白い幕に映し込まれた日食を見つめる参加者。愛知県春日井市玉野町で(福本精一さん提供)

雲の間に見えた日食